

一般

段級

吳天いんてんに白髪はくはつの恨うらみを重ぬおもといへども耳みみに

ふれて、いまだ目めに見ぬ境さかい若も生して帰かえらば

と、定めなき頼たのしみの末すゑを楽たのしみて、其日そのひ、

【奥の細道】
遠い異郷の旅の空（の下）で白髪になつてしま
うよ、うな嘆きを重ねたとして、話には聞いて
もまだ見たことができた、たのしみ（場所）を見
て帰ることをあてにして、その日（幸いだ）と、は
かなく

